



Title	沖縄関係/日米協議委員会開催関係( (19)第17回日・米協議委員会44.1.13   外務省外交史料館レファレンス番号 : nd )
Author(s)	-
Citation	平成27年度外交記録公開(1)   公開日 : 平成27年12月24日   外務省外交史料館管理番号 : A'3.0.0.7-1(195)   CD・DVD番号 : H27-001
Issue Date	
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43728">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43728</a>
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

(19)

才  
17  
回  
日  
米  
協  
議  
委  
員  
會

44  
.  
/  
.  
13

電信課長  
代  
浦

機密表示 (極秘・秘の朱印) <b>秘</b>	符号表示 暗 略 <b>平</b>	※ 総第 269 号
	※ 第 / 号	※ 昭和 44 年 1 月 7 日 14 時 46 分発
	大至急 <b>至急</b> 普通 · LTF	※ 発電係 <b>ナ</b>

(※印欄内は電信課記入)

大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官 房 長	主管 アメリカ局長 参事官 <b>ナ</b> 北米課長 <b>ナ</b>	主管局部課 (室) 名 <b>米北</b> 起案 昭和 44 年 1 月 7 日 起案者 <b>佐藤</b> 電話番号 441
--	---	--

協議先

在 **那霸** 岸 **日本政府事務行長** 大使 臨時代理大使  
総領事 代理 いて **外務** 大臣 発

電 報 在 大使 臨時代理大使 いて  
総領事 代理

件名 **技術委員会 の 開催**

7 16

- 昭和 44 年度 日本政府 仲絶 援助 1 = 1 国 3 5  
技術委員会 ~~の開催~~ を 1 月 10 日 または 11 日  
に 開催 する こと、当地 在 米 領 事 館 大 使 館 に 申 し 入 る  
こと、貴 地 の 米 側 と 協 議 の 上、<sup>開催元</sup> 取 り 進 む 事 務 上 11。  
2. 総 理 府 岸 援 助 業 務 課 長 は、上 記 日 程 に 合 せ、  
8 日 午 前 貴 地 に 赴 く 事 (航 空 機 未 定)

本件 及び 経済 関係 等 の 依頼 による もの こと、  
(昭和 44 年 1 月 7 日 改正)

電信課長 代 本	機密表示 (極秘・秘の朱印) <b>平文</b>	符号表示 暗 略 <b>平</b>	※ 総第 <b>965</b> 号
		※ 第 <b>39</b> 号	※ 昭和 年 月 日 時 分 秒 <b>44.1.11 16.48</b>
		大至急・ <b>至急</b> 普通・LTF	※ 発電係

(※印欄内は電信課記入)

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 <del>官 房 長</del>	主管 <b>アメリカ局長</b>  <b>参事官</b>  <b>北米課長</b> / <b>老</b>	主管局部課 (室) 名 <b>米北</b> 起案 昭和 <b>44</b> 年 / 月 / 日 起案者 <b>吉川</b> 電話番号 <b>445</b>
--	---	--

協議先

**決**

在 **米吉野** **大使** 臨時代理大使  
総領事 **代理** あて **夏知** 大臣 発

電 報 在 大 使 臨時代理大使  
報 総領事 代 理 あて

件名 **日米協議委の開催**

11 108  
三  
一  
濟

11日沖繩に開打日米協議委第17回会合に  
13日開催す旨を日本側から本大臣 及び  
床次長官、米側からジョーンズ大使 及びカーペン  
民政官に出席す旨新南発表した  
ので、参考まで。 (3)

(昭和四二・七一改正)

機密表示 (極秘・秘の朱印)	符号表示 暗 略 <b>平</b>	※ 総第 <b>313</b> 号
<b>平文</b>	※ 第 <b>66</b> 号	※ 昭和 年 月 日 時 分 秒 <b>44.1.11 17.30</b>
	大至急・至急・普通・LTF	※ 発電係 <b>(2)</b>

電信課長  
代  
印

(※印欄内は電信課記入)

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アメリカ局長 参事官 北米課長	主管局部課(室)名 <b>米北</b> 起案 昭和 <b>44</b> 年 / 月 / 日 起案者 <b>吉川</b> 電話番号 <b>445</b>
---	-----------------------------	--

協議先

在 那 霸 **高瀬** (大使) 臨時代理大使  
**岸** 沖繩事務所長 代理  
あて **夏知** 大臣 発

電 報 在 大 使 臨時代理大使  
報 総領事 代理 あて

件名 **日米協議委の開催**

**11日 沖繩に使用の日米協議委第12回**

**会合を13日開催する日本側から**

**本大臣及び岸次長官、米側からワシントン大使**

**及びカーペンター民政官が出席する旨**

**新用電表1592、参考まで。(3)**

済  
字

11-107

(昭和四二・七一 改正)

GB-

ソカヒ

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

秘

大臣事務次官	事務次官
大臣官舎	官舎
入会	入会
文館厚給	文館厚給
参旅移	参旅移
長領往	長領往
国資長	国資長
参北	参北
長中	長中
参中	参中
長南	長南
参西	参西
長東	長東
参ア	参ア
長近	長近
参調	参調
長統	長統
参経	参経
長協	長協
参規	参規
長軍社	長軍社
参政	参政
長経科	長経科
参内	参内
長道外	長道外
参文	参文
長文二	長文二

69 68 年 1 月 11 日 16 時 40 分 本 省 着  
 69 68 年 1 月 11 日 17 時 55 分 本 省 着

外務大臣殿 岸 沖繩事務所長

才ノ2 回日米琉技術委員会

才ノ0 号 早 稅 扱 至 急  
 務 務 長 官 へ 才ノ0 号

才ノ2 回日米琉技術委員会は11日午前9時半より約2時間半にわたリクレーマ- 民政府企画局長と計長代行として知念委員本官出席のもとに民政府会談室で開かれ日政援助計画案を討議の末原案通り承認した。なお知念委員より承認に先だち琉政の要望として日政援助の増加分について配慮されることを期待する旨の発言があった。委員本官上京の折(11日夕上京の予定)報告すべし以上取敢えず。

(了)

(12日. 0730 主管課長に連絡情報 電信課)

電信課長  
①

機密表示 (極秘・秘の朱印) <b>平</b>	符号表示 暗 略 <b>平</b>	※ 総第 <b>1112</b> 号
	※ 第 <b>78</b> 号	※ 昭和 年 月 日 時 分 秒 <b>44.1.13 20.32</b>
	大至急・ <b>至急</b> ・普通・LTF	※ 發電係 <b>AM</b>

(※印欄内は電信課記入)

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アメリカ局長 参事官 北米課長	主管局部課(室)名 <b>米北</b>
		起案 昭和 <b>44</b> 年 1 月 13 日
		起案者 <b>吉川</b> 電話番号 <b>445</b>

協議先

在 **那覇** **高瀬** **大使** 臨時代理大使  
**米田** **沖繩事務所長** 代理  
 あて **愛知** 大臣 発

電 在 大 使 臨時代理大使  
 報 報 総領事 代 理 あて

件名  
**日米協議委用催**  
**那覇**  
**往電合券77号別電**

130113

字  
濟

(昭和四二・七一改正)

機密表示 (極秘・秘の朱印) <b>平文</b>	符号表示 暗路平	※ 総第 1111 号
<b>利</b>	※ 第 77 号 4	※ 昭和 44 年 1 月 13 日 20 時 32 分 発
<b>利</b>	大至急・至急・普通・LTF	※ 発電係 <b>利</b>

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アメリカ局長 参事官 北米課長	主管局部課(室)名 <b>米北</b> 起案 昭和44年1月13日 起案者 <b>吉川</b> 電話番号 445
---	-----------------------------	---

協議先

13#13  
13#12

臨時代理大使  
大使 高瀬 求  
在 那覇 沖繩事務所代理  
あて 野村 大臣 発

電報 在 大使 臨時代理大使  
総領事 代理 あて

件名  
**日米協議委用催**

字  
濟

往電合券 66 号 = 用 L

沖繩 = 用 L 日米協議委券 17 回 合券 (手通)

13 日 用催 且 終了 後 別電、如き 新聞

発表 已 行 白、(新南 登 告 別 条、援助 項目 等、可 送 送 可。)

在 大、會議、席上 日本 側 別、日本 政府 七 口

(※印欄内は電信課記入)

(昭和四二・七・一改正)



は、右如若干、追加援助を考慮し、  
旨説明し、日本政府予算案の最終確定  
が遅れたため、本追加援助の協議委  
提出は不可能であったが、追って追加分  
確定の上は、改めて協議委を用くこと  
なく事務レベルにおいて取り決めることと  
した旨提案し、米側も右追加項目が  
先般来の米側非公式提案の枠内であることと  
条件に右取り決める方式に同意した。なお  
対外的には日本政府予算案確定までに  
~~若干の援助額が追加される場合は、追加~~  
~~右を来年度援助額に加えること~~が合  
~~意された旨説明した。~~（~~原案、対外的には~~  
援助額に追加の可能性を示唆した。）  
(向得官に送致) (3)

機密表示 (極秘・秘の朱印) <b>密</b>	符号表示 暗 (略) 平	※ 総第 1195 号
	※ 第 48 号	※ 昭和 44.1.13 時 9.46
	大至急 (至急) 普通 · LTF	※ 発電係 <b>吉川</b>

大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官 房 長	主管 アメリカ局長 参事官 北米課長	主管局部課 (室) 名 北米
		起案 昭和 44 年 1 月 13 日 起案者 吉川 電話番号 445

写 済

漢

協議先

在米吉野 大使 臨時代理大使  
総領事 代理 大臣 発

電 在 大使 臨時代理大使  
報 報 総領事 代理 代 理 いて

件名  
日米協議委用催  
往電 39 号 及 213  
13 日 一 般 情 報 28 号 に 用 し、  
沖 縄 に 関 し、日 米 協 議 委 用 催 会 合 中  
13 日 用 催 さ れ た 会 議、席 上 日 本  
會 議 後 の 新 聞 答 復 に 関 し、一 般 情 報 の 一 つ として  
例 外、日 本 政 府 と し て、日 本 政 府 の 追 加  
援 助 を 考 慮 し、旨 説 明 し、日 本 政 府

(※印欄内は電信録記入)

(昭和四二・七・一改正)

GB-

予算案、最終確定不遅れたため、本  
追加援助の協議案提出が不可能であった  
が、追って追加を確定の上は、改めて  
協議案を用くこととして事務レベルに於いて  
取り決めのこととした旨提呈し、米側も  
右追加項目は造船業の米側非公式提  
呈の枠内であることと条件に右取り決めの  
方式に同意した。

なお、対外的には援助額追加の可能性のみ示唆した。(関係資料空送  
付。)

(3)

機密表示 (極秘・秘の朱印) 平文	符号表示 暗 略 平	※ 総第 1330 号
	※ 第 107 号	※ 昭和 44.1.14 20.53 年 月 日 時 分 発
	大至急・至急 普通・LTF	※ 発電係 周

電信課長  
付

(※印欄内は電信課記入)

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アメリカ局長 参事官 北米課長	主管局部課(室)名 米北 起案 昭和 44 年 / 月 / 日 起案者 吉川 電話番号 445
---	-----------------------------	--

協議先

写  
済

臨時代理大使  
 大臣 発  
 代理  
 高瀬 大使  
 沖繩 事務次官

電報 在  
 大使 臨時代理大使  
 総領事 代理 あて

件名  
 可沖繩援助

往電合第 77 号に用し。

14 166

14日9閣議に於いて対沖繩援助と12

10億円を~~追加~~追加するに正式に決定

し。来年度日本政府対沖繩援助は総額

227億4,900万円とす。

(昭和四二・七一改正)

GB-

なお、右10億円を13日日米債に  
合意をみた日本政府沖繩援助計画に  
加えることにつき、14日の閣議前に米側  
の非公式同意を得、是の文書の形式を  
確定の事定。項目別一覽表は冒頭  
往電既報の關係資料と共に空送付。

( )

電信課長  
代印

機密表示 (極秘・秘の朱印) <b>極秘</b>	符号表示 暗 <b>略</b> , 平	※ 総第 <b>1335</b> 号
	※ 第 <b>60</b> 号	※ 昭和 年 月 日 時 分 発
	大至急・至急・普通・LTF	44.1.14 20.58 発電係 <b>吉川</b>

(※印欄内は電信課記入)

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アメリカ局長 参事官 北米課長	主管局部課(室)名 <b>米北</b> 起案 昭和44年1月14日 起案者 <b>吉川</b> 電話番号 445
---	-----------------------------	---

協議先

漢

在 **米吉野** ~~大使~~ **臨時代理大使** ~~総領事~~ ~~代理~~ **愛知** 大臣 発

電 在 大 使 臨時代理大使  
報 報 総領事 代 理 あり

件名 **対沖繩援助**

往電第48号に用し。

14日9周議に於いて対沖繩援助予算

~~追加分~~ 1210億円に <sup>追加</sup> ~~上乗せ~~ 27億

正式に決定し、来年度日本政府対沖繩

援助は総額227億4900万円と定めた。

本件特達品と示すや否や(吉川)

(昭和四二・七一、改正)

GB-1

14 165

以下、在 10 億圓に 13 日 日米両国合  
意を以て日本政府沖繩援助計画に  
加えることにつき 14 日の閣議前に米側  
の非公式同意を得、追って文書形式で  
確定する。項目別一覧表は冒頭  
往電既報の関係資料と共に空送付。

(3)

秘密表示 (朱印)

秘  
 無期限

部数指示	発信用	紙新用	備考
主 信	2	1	1
付	3	1	
取			付属発信渡し

発送日 昭和44年1月21日  
 処理日  
 発信 17 タイプ

文書番号 110 公 信 案 (分類)

公 信 米北合 第 110 号 公 信 昭 和 昭和44年1月20日  
 番 号 日 付

大 臣 政 務 次 官 事 務 次 官 外 務 審 議 官 外 務 審 議 官 官 房 長	主 管 アメリカ局長 参 事 官 北米課長	起案 昭和44年 1月13日 起案者 吉川 電話番号 445
--	--------------------------------	-----------------------------------

協 議 先  
 受 信 者 日米琉語同委員会日本政府代表  
 在 那 覇 日本政府沖縄事務所長  
 発 信 者 外務大臣

写 送 付 先 (希望発送日)  
 月 20 日

件 名 沖縄に用打日米協議委員会第17回  
 会合に用打資料送付

GA-2 外務省 回覧番号

20 249



米北合第 110 号

昭和44年1月20日

外務大臣

沖縄に用打日米協議委員会第17回

会合に用打資料送付

往電米北合第77号及公合第107号に用打

沖縄に用打日米協議委員会第17回会合

関係の下記資料各1部別添送付す。

記

1. 議長用メモ (本大臣発言を含む) (和英文)

2. 床次總務長官挨拶及公発言 (和文)

3. ジョソソソ 米大使 発言 (英文)

4. クレマ- 民政府 計画局長 発言 (英文)

5. 新聞 発表文 (計画一覽表と合致) (和英文)

6. 沖縄 援助 計画 追加分 (和文)

付属 空便 (術)

本信 送付先 日米 琉語 内 委員会 日本政府 代表

日本政府 沖縄 事務所 長

秘密表示(朱印)

秋  
無期限

付属信渡し

部数指示	発信用	執務用	備考
主信	/	/	2
	298		

発送日 昭和44年1月21日

処理日

発信 生タイプ 校査

文書課長

公 信 案 (分領)

公 信 番 号	米北 第 54 号	公 信 日 付	昭和 44年1月20日
大臣	主管	起案 昭和 44年 / 月 / 日	
政務次官	アメリカ局長		
事務次官	参事官		
外務審議官	北米課長	起案者 吉川	電話番号 445
外務審議官			
官 廳 長			
協議先			
受領者		発信者	
在米 下田大使		夏知大臣	
写送付先		(希望発送日)	
		/ 月 20	
件 名 沖縄に用いた日米協議委員会			
第17回会合関係資料の送付			

GA-2

20 244 外務省

回覧番号

10596

米北才 54号

昭和44年1月20日

在米大使殿

外務大臣

沖縄に用打日米協議委員会

才17回会合関係資料を送付

往電<sup>米北</sup>才48号及才60号に用L. 沖縄に

用打日米協議委員会才17回会合関係の

下記資料各1部別添送付才。

記

1. 議長用メモ(本大臣発言を含む)(和英文)

2. 床也総務長官挨拶乃心発言(和文)

3. ジョーンズ米大使発言 (英文)

4. クレイバ-民政府計画局長発言 (英文)

5. 沖縄援助計画一覧表 (和文)

6. " 追加分 (和文)

付属空便(符)